

3. 取り組みについて

【読谷山花織】

工事施工個所について、地域資源活用協議会の構成員である読谷山花織関係者と現地踏査を行ない、工事施工個所内に読谷山花織の染料になる「フクギ」、「ヤマモモ」、「グール」、「シイ」等の有無を確認し、活用できる場合については工事の際の伐採方法、運搬方法について調整をおこない、従来廃棄物として処理していた伐採木を読谷山花織の染料として有効活用していきます。



【原材料】読谷山花織に使われる糸は、綿や絹などの天然繊維を用います。

【読谷山焼】

読谷山花織と同様に工事施工個所について、地域資源活用協議会の構成員である読谷山焼関係者と現地踏査を行ない工事施工個所内に読谷山焼の原料となる喜名粘土等の有無を確認し、活用できる場合については工事工程の調整をおこない、従来建設残土となっていた土を読谷山焼の原料として有効活用していきます。



また、松等の伐採木については現地踏査の際、薪として有効利用できるものについては、伐採方法や運搬方法について調整をおこない有効活用していきます。